

カンルンガンチャリティーコンサート 2011 開催報告書

フィリピンストリートチルドレン支援事業、カンルンガンチャリティーコンサート 2011 が無事終了いたしましたのでご報告申し上げます。

I、事業概要報告

1. 名 称：カンルンガンチャリティーコンサート 2011 - ありがとうを伝えたい -

Presented by HIKARI GROUP

2. 日 時：2011年3月26日(土)

15:00 開場 15:30 開演 18:30 終了

3. 会 場：甲南学園 甲友会館 大ホール

4. 主 催：特定非営利活動法人 AWPS 学生スタッフチーム

5. 協 力：学校法人 甲南学園（甲南大学・甲南高等学校・甲南中学校）

6. 後 援：兵庫県・神戸市

7. 提 供：HIKARI GROUP

8. 協 賛：不二熱学工業株式会社、株式会社 JTB 西日本 教育旅行神戸支店
岡安商事株式会社、アサヒカルピスビバレッジ株式会社
株式会社クール、株式会社セイカ、オリバーソース株式会社
高嶋酒類食品株式会社、株式会社アーク・スリー・インターナショナル
株式会社建築計画研究所

- | | | |
|---------|-------------------|------------|
| 9. 出演校： | 神戸大学附属中等教育学校 | コーラス部 |
| | 甲南中学校 | ブラスアンサンブル部 |
| | 大阪青凌中学校・高等学校 | 吹奏楽部 |
| | 立命館守山高等学校 | 吹奏楽部 |
| | 相愛高等学校 | 音楽科1年生 |
| | 大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 | 合唱部 |

II、事業内容報告

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 来場者数 | : 168 名 |
| 2. 参加者数(出演者・スタッフ) | : 198 名 |
| 3. 募金額 | : 52,450 円 |
| 4. チャリティー商品売り上げ | : 36,150 円 |



① [ステージイベント]

◇中学校・高等学校音楽系クラブによる演奏

関西圏の中学校・高等学校の有名音楽系クラブの方々に、各クラブ 20 分程で 2~3 曲を演奏・合唱していただきました。

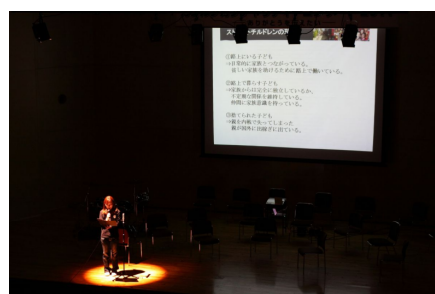


◇カンルンガンについて

AWPS の支援先団体である、フィリピンマニラの NGO カンルンガン・サ・エルマの活動や、カンルンガンについて弊団体 U 1 8 事業部の栄村嘉希より紹介いたしました。

◇フィリピンの現状について

インフォーム事業部チーフの岸美咲帆より自らの渡航した際の経験も踏まえフィリピンの路上で暮らすストリートチルドレンの現状について発表させていただきました。



◇「ありがとうを伝えたい人は誰ですか？」作文朗読

甲南小学校の 5 年生を対象にフィリピンのストリートチルドレンの現状を伝える目的でインフォーム事業(大学生による出前授業)を行いました。その後、「ありがとうを伝えたい人は誰ですか？」というタイトルで作文を書いてもらいました。そして、志鷹 依露君と細川 陽南子さんの 2 名が甲南小学校を

代表し、コンサート当日作文を朗読。小学生のまっすぐな気持ちの作文朗読に多くの人から『感動した』とのコメントを頂戴しました。



◇テーマソングの合唱

全出演校のコラボレーション企画。各校の代表者で本コンサートのテーマソングである「世界がひとつになるまで」を合唱。迫力のあるテーマソング合唱となりました。



② [ロビーイベント]

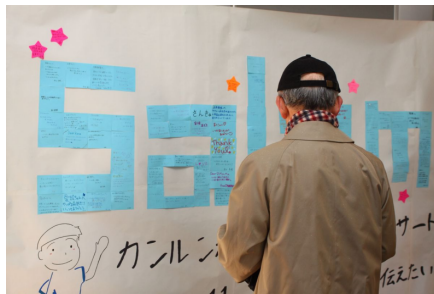
◇元ストリートチルドレン自立支援グッズプロモーション

カンルンガンの施設で生活する、元ストリートチルドレンたちが作った、ミサンガ、ポストカード、ピアスを紹介。また、ご来場者の強いご要望があったため、販売も行いました。



◇「ありがとうを伝えたい人は誰ですか？」メッセージ記入

コンサート参加者の皆さんにはあらかじめメッセージカードを配布。「あなたにとってありがとうを伝えたい人は誰ですか？」というテーマで、メッセージを記入してもらい、回収したメッセージカードでモザイクアートを作成しました。モザイクアートでは、『salamat(タガログ語でありがとうの意)』の文字を作成。来場者の方々にも当日、星形のカードに同様のメッセージを記入してもらいました。



◇募金活動

各ブースに募金箱を設置しました。また、コンサート閉演後スタッフが手に募金箱を持って募金を呼びかけたところ、大勢の方から温かいご支援を頂きました。なお、今回のコンサートに限り募金額の半額を2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々への義援金といたしました。



Ⅲ総括

今回、カンルンガンチャリティーコンサート2011を開催するにあたり、様々な団体、学校、企業の方々から多大なご支援・ご協力を賜りました。今年は3回目の開催ということで一昨年、昨年のコンサートよりも盛大なものにするためにスタッフ一同が一丸となって準備を進めて参りました。今回も昨年同様すべての出演校に事前に弊団体の学生スタッフが訪問し、各校でフィリピンのストリートチルドレンの現状を伝えるインフォーム事業(大学生による出前授業)

を実施しました。各学校の出演者の方々からは、「事前にストリートチルドレンの現状について知ることができたので、いつも以上に気持ちを込めて演奏することができた」などの感想をお寄せいただきました。

コンサート当日は天候にも恵まれ 160 名を超える方々にご来場いただきました。

今回のチャリティーコンサートのテーマは『ありがとうを伝えたい』。世界中のどの国にもある「ありがとう」という感謝を伝える言葉。来場者と出演者全員がこのコンサートを通じて、自分たちがどれだけ恵まれた生活をしているのかを実感し、感謝の気持ちを改めて感じてもらいたいとの思いからこのテーマに決定しました。

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響で一部コンサートの内容を変更しました。

また、コンサートにおいて来場者の方々から頂戴した募金の半額を東日本大震災で被災された方々に、残りの半額を従来通り NGO カンルンガンにそれぞれ送金することにいたしました。

ご来場の方々の感想から、本事業の開催目的である『より多くの人にフィリピンのストリートチルドレンがおかれている状況を伝える』という目的が達成できたものと自負しております。

また、ご来場の方々だけでなく、出演校の皆様や弊団体の学生スタッフも「生かされている命に感謝すること」、「ありがとうを言葉で伝えることの大切さ」を改めて認識する機会となりました。しかし、今年は準備不足な点が多々あり、出演校の皆さんや顧問の先生方に多大なご迷惑をおかけしました。来年、コンサートを開催するにあたっては、今回の反省点を十分に活かし、もっと成長・発展した AWPS 学生スタッフチームをお見せできるようにスタッフ一同頑張ってお参ります。

最後になりましたが、ご協賛をいただきました方々をはじめとする、関係各所の皆様には多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びし、同時に多大なご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。カンルンガンチャリティーコンサート 2011 の開催報告とさせていただきます。

カンルンガンチャリティーコンサート 2011

実行委員長 高橋 一未

副実行委員長 久松 幹宜

実行委員会スタッフ一同